

授業アンケート(授業科目について・歯学部共通様式)

※ 各数値は質問回答者の平均を表す。1が最もよい、5が最も悪いの5段階で、1に近づくほどよい。2.5以上に黄色。

※ 問2、10、12、14は直前の質問で「悪い」と回答した者のみ多い・少ないを2択で答えさせる形式のため、平均を取る指標として適切ではないことから、今回の集計項目から除外した。

	1. この科目の教科書は、ちょうど良い量である。	2. 問1で、そう思わないと答えた場合、多いですか、少ないですか。	3. この科目の教科書は、内容が理解しやすい。	4. 授業内容は、実習も含めて段階的に進められていると思う。	5. この科目は、教養科目や基礎科目などを含めて、他の科目とバランスがよく取れていると思う。	6. この授業科目は、教育要項の予定どおりに進んでいる。	7. あなたは、この科目の授業によく出席し、意欲的に学ぼうとしましたか。	8. この科目の実習は、理解しやすい。または、わかりやすい。	9. この科目の実習進行速度は、ちょうどよい速さである。	10. 問9で、そう思わないと答えた場合、速いですか、遅いですか。	11. この科目の実習資料は、ちょうど良い量である。	12. 問11で、そう思わないと答えた場合、多いですか、少ないですか。	13. この科目の全体の实習時間は、理解するのにちょうど良い。	14. 問13で、そう思わないと答えた場合、多いですか、少ないですか。
解剖学(2年)	1.877		1.965	1.737	1.772	1.737	1.807	1.860	1.877		1.930		2.070	
発生学・組織学(2年)	2.108		2.000	1.946	2.000	1.865	1.973	2.000	2.135		2.189		2.189	
生理学(2年)	2.378		2.467	2.111	2.400	2.022	2.000	2.244	2.333		2.333		2.400	
生化学(2年)	1.886		1.955	1.750	1.886	1.682	1.795	1.909	1.750		1.773		1.886	
病理学(2年)	2.098		2.049	2.049	2.049	2.098	2.049							
微生物学・免疫学 I	1.962		2.019	1.849	1.962	1.679	1.811							
薬理学(2年)	2.396		2.292	2.229	2.229	2.063	2.021	2.333	2.146		2.229		2.167	
歯科理工学(2年)	1.982		1.964	1.800	2.055	1.873	1.891	1.964	1.927		1.964		1.964	
衛生学・公衆衛生学	2.171		2.220	2.146	2.268	2.146	2.220	2.195	1.976		2.098		2.000	
医学統計学	2.390		2.537	2.171	2.390	2.073	2.415							
専門英語(2年)	2.140		2.088	2.193	2.333	2.070	2.140	0.895	0.860		0.877		0.860	
病理学(3年)	2.222		2.139	1.944	1.917	1.861	1.889	2.167	2.139		2.194		2.222	
微生物学・免疫学 II	2.106		2.128	2.043	2.021	1.979	1.894	2.149	2.000		2.149		2.021	
薬理学(3年)	2.833		2.857	2.548	2.548	2.238	2.214							
歯科理工学(3年)	2.190		2.190	1.976	2.071	1.905	1.833	2.143	2.167		2.048		2.143	
社会と歯学	2.457		2.600	2.400	2.486	2.229	2.143	2.229	2.143		2.143		2.171	
歯科放射線学	2.310		2.310	2.119	2.381	2.119	2.024							
医科学総論	2.918		2.571	2.286	2.408	2.041	2.041							
医療リベラルアーツ	2.500		2.528	2.472	2.472	2.389	2.222							
医療リベラルアーツ(英語)	2.389		2.472	2.444	2.500	2.417	2.111							
IDP	2.846		2.692	2.673	2.558	2.558	2.154	2.442	2.635		2.577		2.596	
DTP	2.826		2.717	2.630	2.696	2.435	2.283	2.370	2.261		2.370		2.348	
TxAD	2.889		2.667	2.278	2.556	2.167	2.000	2.278	2.472		2.306		2.500	
社会と歯科医療・チーム医療(3年)	2.583		2.528	2.500	2.611	2.389	2.278							
コア歯学教育演習基礎	2.566		2.453	2.585	2.434	2.057	1.962							
専門英語(4年)	2.140		2.088	2.193	2.333	2.070	2.140							
FR	2.302		2.151	1.906	2.208	1.811	1.698	1.868	2.226		1.981		2.113	
SmAD	2.210		2.145	2.177	2.210	1.855	1.887	2.000	1.919		1.935		2.000	
AST	2.534		2.172	2.172	2.190	2.207	1.879							
TxCH	2.298		2.175	1.982	2.088	1.930	1.737	1.947	1.965		1.965		1.982	
AD	2.500		2.517	2.431	2.534	2.310	2.276	2.190	2.155		2.103		2.155	
医科学(5年)	2.900		2.760	2.660	2.720	2.380	2.280							
総合講義(I)	3.120		2.580	2.780	2.960	2.560	2.220							

授業アンケート(各科目独自設問形式)

※各数値は質問回答者の平均を表す。1が最もよい、7が最も悪いの7段階で、1に近づくほどよい。

	実習を通じて歯科医師の仕事に魅力を感ずましたか。	2.262	2.976	2.667	2.881
歯科専門体験実習	実習に楽しく参加できましたか。	2.262	2.976	2.667	2.881
	専門体験実習(学内)はあなたにとって有意義でしたか。	2.262	2.976	2.667	2.881
	専門体験実習(学外)はあなたにとって有意義でしたか。	2.262	2.976	2.667	2.881

	本科目を通じて将来も歯科医学に関する研究に携わってみたいと感じましたか。	3.333	1.872	3.077	3.026
基礎科学演習	本科目を通じて将来も歯科医学に関する研究に携わってみたいと感じましたか。	3.333	1.872	3.077	3.026
	実習に楽しく参加できましたか。	3.333	1.872	3.077	3.026
	実施した研究に興味を持ちましたか。	3.333	1.872	3.077	3.026
	基礎科学演習はあなたにとって有意義でしたか。	3.333	1.872	3.077	3.026

	この科目の実習はあなたにとって役立ちましたか。	2.324	3.081	2.135	2.730
コア歯学教育演習(Ⅱ)	この科目の実習はあなたにとって役立ちましたか。	2.324	3.081	2.135	2.730
	この科目の実習時間は、理解するのにちょうどいいですか。	2.324	3.081	2.135	2.730
	この科目の実習によく出席し、意欲的に学ぼうとしましたか。	2.324	3.081	2.135	2.730
	この科目の実習は、他の科目とバランスが取れていると思いますか。	2.324	3.081	2.135	2.730
	この科目の実習は理解しやすいですか。または分かりやすいですか。	2.324	3.081	2.135	2.730

	「復習課題」があれば、それを使って復習したい。	4.085	3.681	3.787	3.957
社会と歯科医療・チーム医療(5年)	「復習課題」があれば、それを使って復習したい。	4.085	3.681	3.787	3.957
	今回のe-learningの操作は容易であった。	4.085	3.681	3.787	3.957
	今回の授業の回答時間は十分であった。	4.085	3.681	3.787	3.957
	今回の授業のe-learningの設問は回答しやすかった。	4.085	3.681	3.787	3.957
	今回の授業のe-learningの設問は回答しやすかった。	4.085	3.681	3.787	3.957
	授業内容は自分のレベルに合っていた。	4.085	3.681	3.787	3.957
	授業内容に興味や関心を持っていた。	4.085	3.681	3.787	3.957
	授業内容について理解しやすかった。	4.085	3.681	3.787	3.957

	選抜講義はあなたにとって役立ちましたか。	4.000	3.305	3.052	2.862
総合講義(Ⅱ)	選抜講義はあなたにとって役立ちましたか。	4.000	3.305	3.052	2.862
	復習試験はあなたにとって役立ちましたか。	4.000	3.305	3.052	2.862
	総合講義Cはあなたにとって役立ちましたか。	4.000	3.305	3.052	2.862
	総合講義Bはあなたにとって役立ちましたか。	4.000	3.305	3.052	2.862
	総合講義Aはあなたにとって役立ちましたか。	4.000	3.305	3.052	2.862
	4月の必修試験・講義はあなたにとって役立ちましたか。	4.000	3.305	3.052	2.862
	3月の国家試験解説講義はあなたにとって役立ちましたか。	4.000	3.305	3.052	2.862
	1年間を通じて総合講義はあなたにとって役立ちましたか。	4.000	3.305	3.052	2.862

コア歯学教育演習(Ⅰ)に関する学生アンケート
(1月31日 CBT本試験直後に実施、有効回答63)

I. CBTを受験しての意見等

1	CBTのための勉強を始めるべき時期				
	3年次最初から	4年次の直前から	4月～7月	夏休みから	10月～
	5 7.9%	9 14.3%	8 12.7%	23 36.5%	17 27.0%
2	CBT PASSのなかの問題をすべて修得すべき時期				
	春休み前	春休み後	夏休み前	夏休み後	10月～
	1 1.6%	3 4.8%	5 7.9%	24 38.1%	30 47.6%
3	CBTのために必要と考える平日の勉強時間				
	1日3時間以上	1日2～3時間	1日1時間程度	週に3～4時間	週に2時間未満
	23 36.5%	22 34.9%	9 14.3%	6 9.5%	3 4.8%
4	CBTのために必要と考える土日、祝日の平均的勉強時間				
	4時間以上	3～4時間	2～3時間	1～2時間	1時間未満
	32 50.8%	18 28.6%	6 9.5%	5 7.9%	2 3.2%
5	ネット模試と比較した難易度				
	とても簡単	やや簡単	普通	やや難しい	難しい
	1 1.6%	8 12.7%	19 30.2%	24 38.1%	11 17.5%
6	コア歯学教育演習Ⅰと比較した難易度				
	とても簡単	やや簡単	普通	やや難しい	難しい
	2 3.2%	13 20.6%	23 36.5%	18 28.6%	7 11.1%

II. CBT受験前の取り組み状況

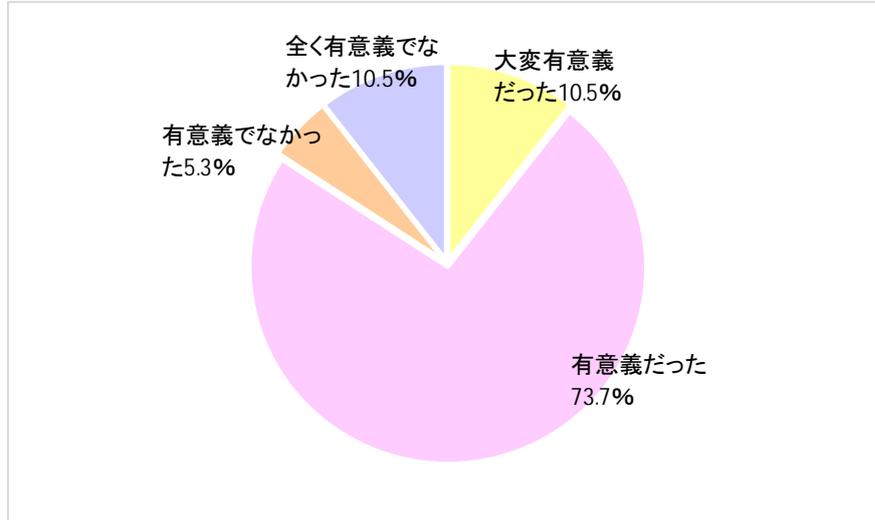
1	CBTの勉強を意識し始めた時期				
	3年次最初から	4年次の直前から	4月～7月	夏休みから	10月～
	4 6.3%	5 7.9%	4 6.3%	11 17.5%	39 61.9%
2	CBTのための勉強を始めた時期				
	3年次最初から	4年次の直前から	4月～7月	夏休みから	10月～
	1 1.6%	2 3.2%	1 1.6%	8 12.7%	51 81.0%
3	CBT PASSの問題を修得した時期				
	春休み前	春休み後	夏休み前	夏休み後	10月～
	0 0.0%	2 3.2%	5 7.9%	33 52.4%	23 36.5%
4	CBTのための平日の勉強時間(直前)				
	1日3時間以上	1日2～3時間	1日1時間程度	週に3～4時間	週に2時間未満
	32 50.8%	17 27.0%	8 12.7%	2 3.2%	4 6.3%
5	CBTのための土日、祝日の平均的勉強時間(直前)				
	4時間以上	3～4時間	2～3時間	1～2時間	1時間未満
	44 69.8%	9 14.3%	5 7.9%	2 3.2%	3 4.8%

50 期生臨床実習アンケート調査—実施結果

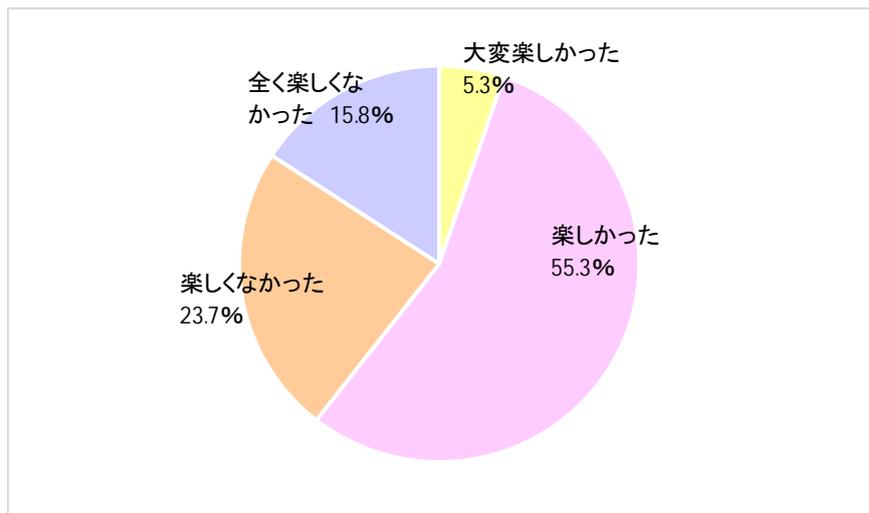
(2019.4 調査/院内生 43 名中 38 名回答)
5 年次の臨床実習を通して感じた点を率直に回答してください。

1. 実習は有意義でしたか？ 実習全体の感想を聞かせて下さい。

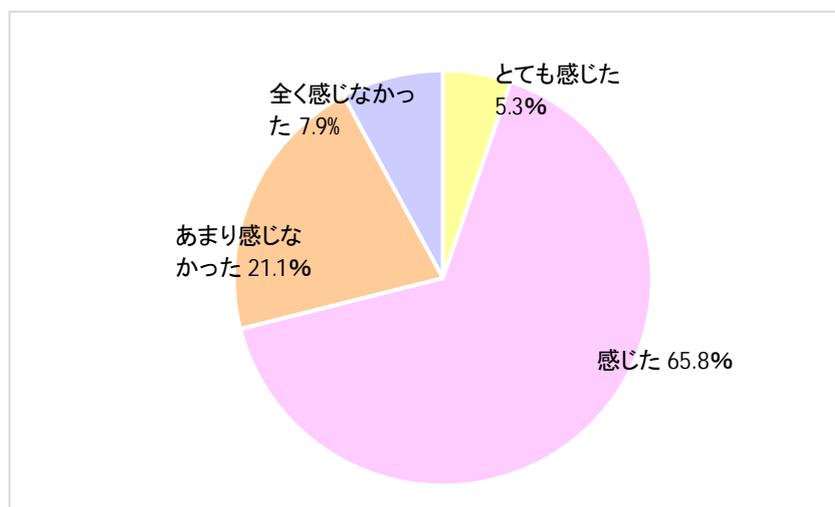
1) 実習は有意義でしたか？



2) 実習は楽しくできましたか？

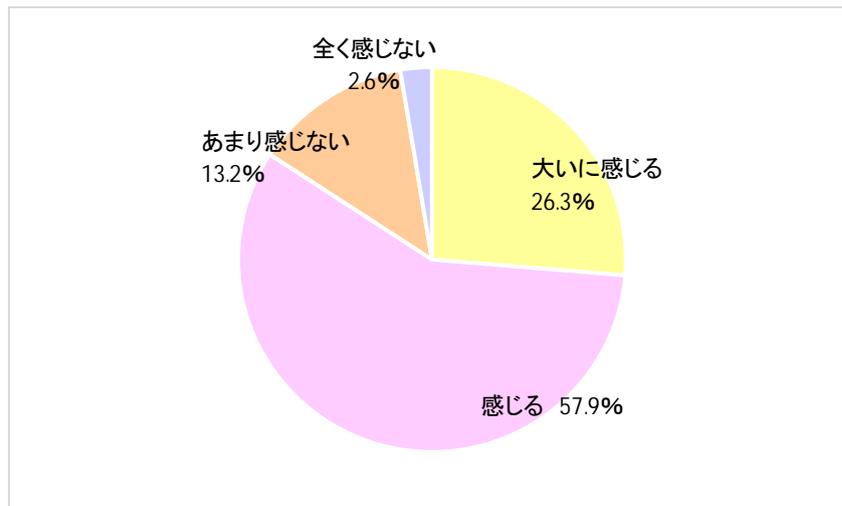


3) 臨床実習を通して、歯科医師の仕事に魅力と誇りを感じましたか？

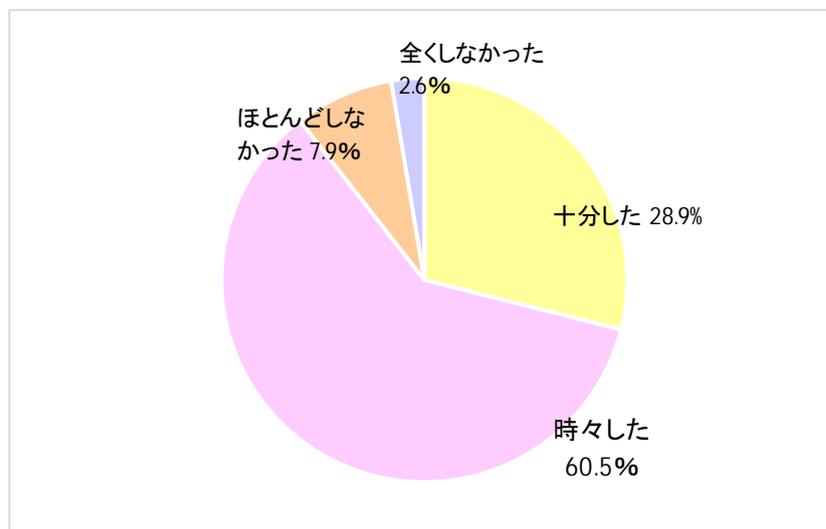


2. 実習への取り組みはどうでしたか？

1) 自分は積極的に実習に取り組んだと感じていますか？



2) 予習あるいは復習をしましたか？



3. 実習の期間・時間などについて感想を聞かせて下さい。

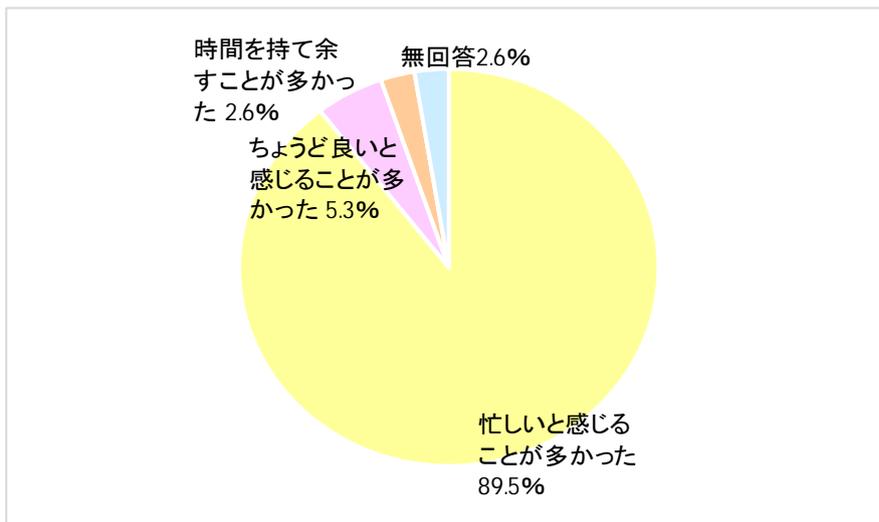
1) 臨床実習期間（平成30年4月3日～平成31年3月7日）の長さはどうでしたか？

長い 15人 適度 23人 短い 0人

2) 1日の実習時間の長さはどうでしたか？

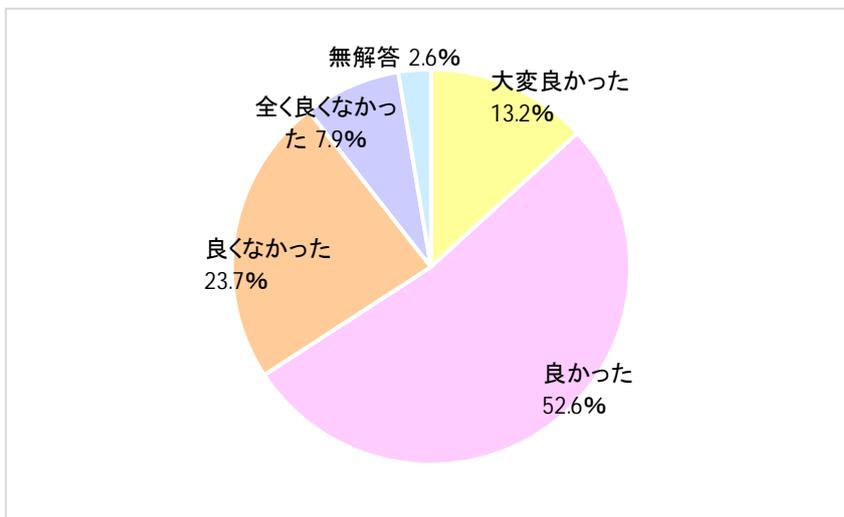
長い 13人 適度 25人 短い 0人

3) 実習期間中は忙しいと感じましたか？

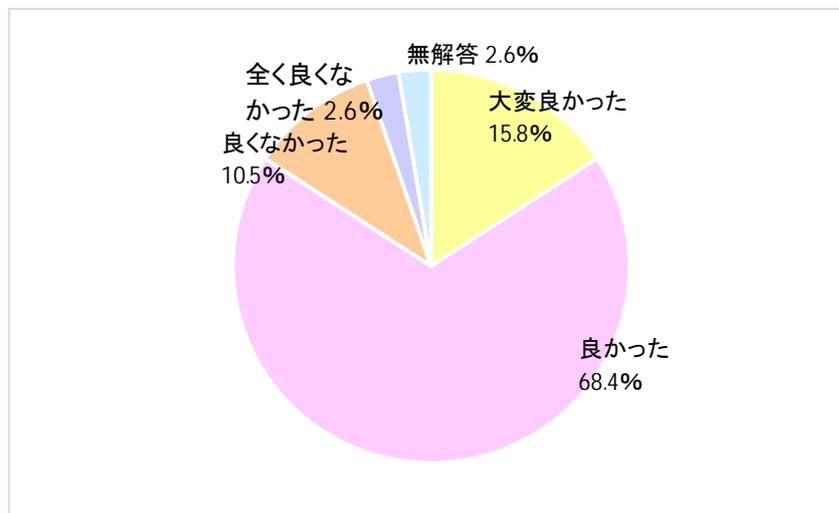


4. 実習形態などについて感想を聞かせて下さい。

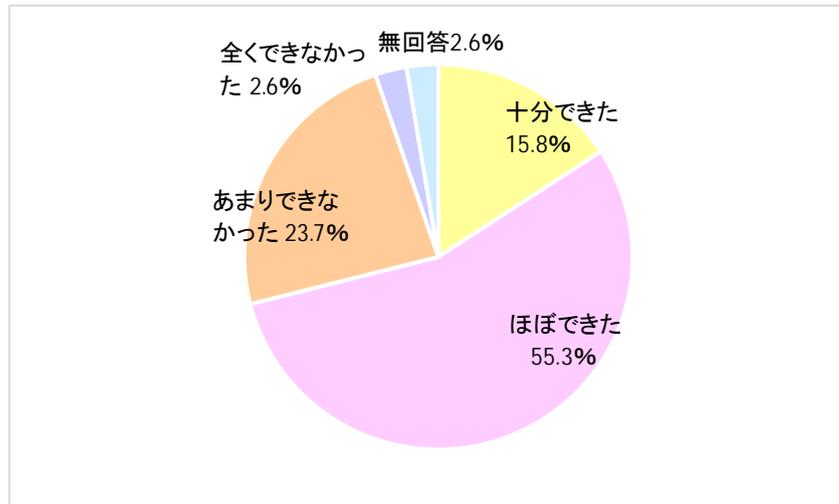
1) 全配属を主体とした実習形態についてどのように感じましたか？



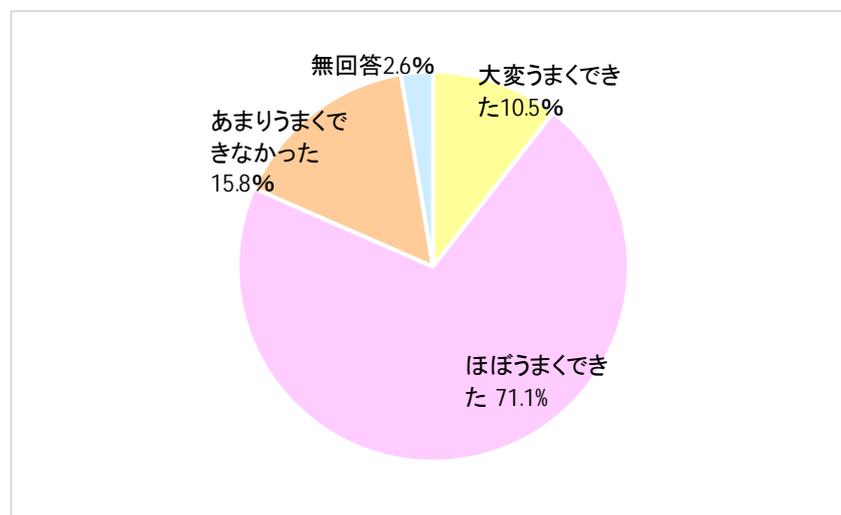
2) 1口腔単位の実習形態についてどのように感じましたか？



3) 1 口腔単位の実習を実践できましたか？

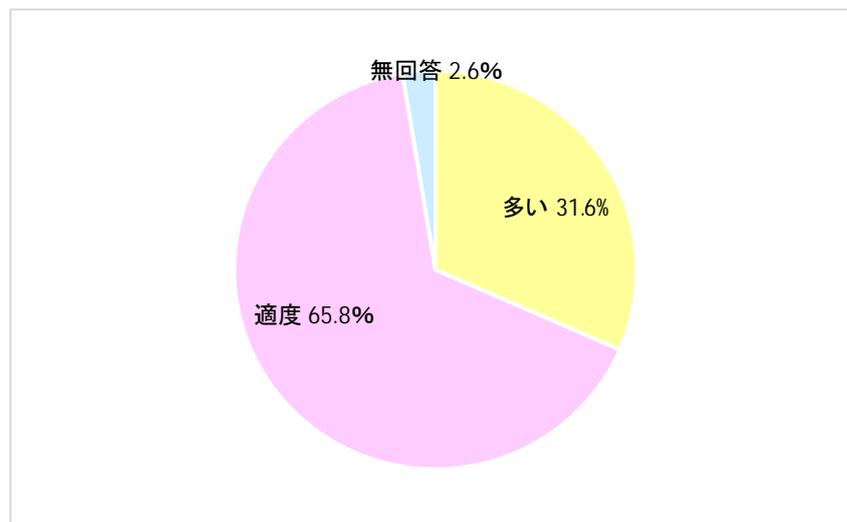


4) アポイントの組み立てはうまくできましたか？

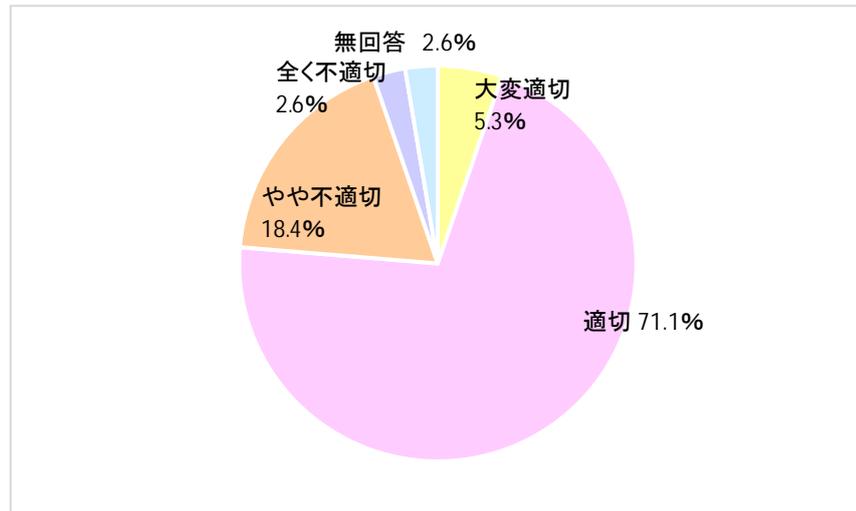


5. リクアイアメントの量・内容について感想を聞かせて下さい。

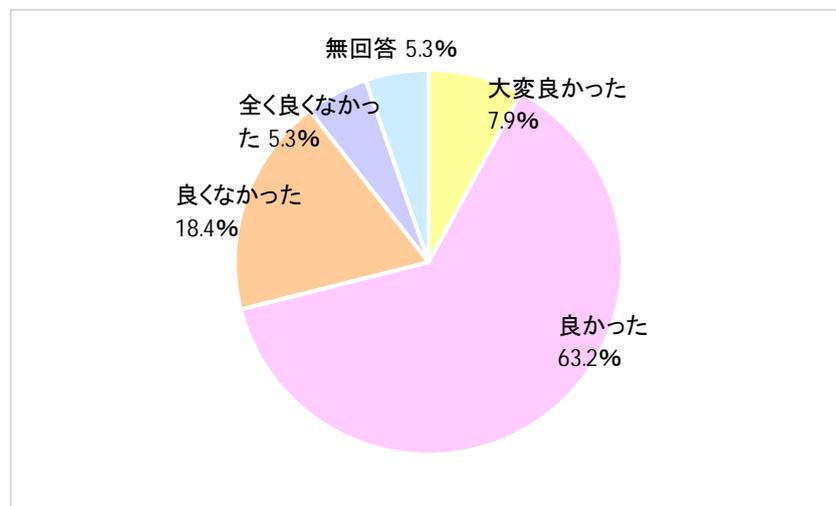
1) リクアイアメントの量（全科目を平均して）はどのように感じましたか？



2) リクアイメントの内容（全科目を平均して）はどのように感じましたか？

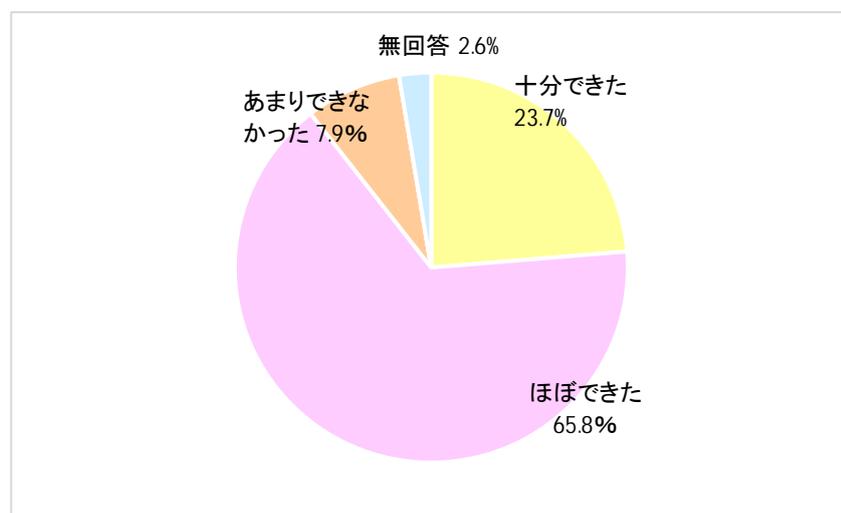


6. ライターの指導についてどのように感じましたか？（実習全体を通して）

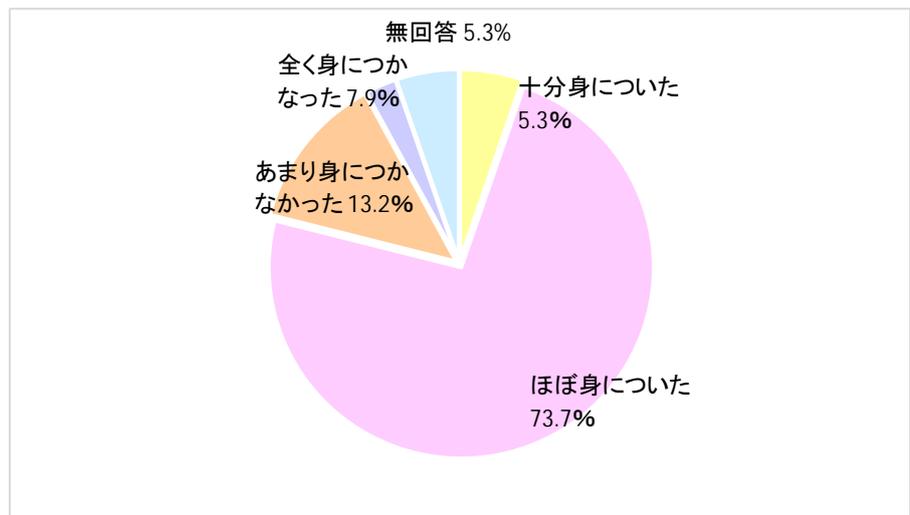


7. 実習の成果について感想を聞かせて下さい。

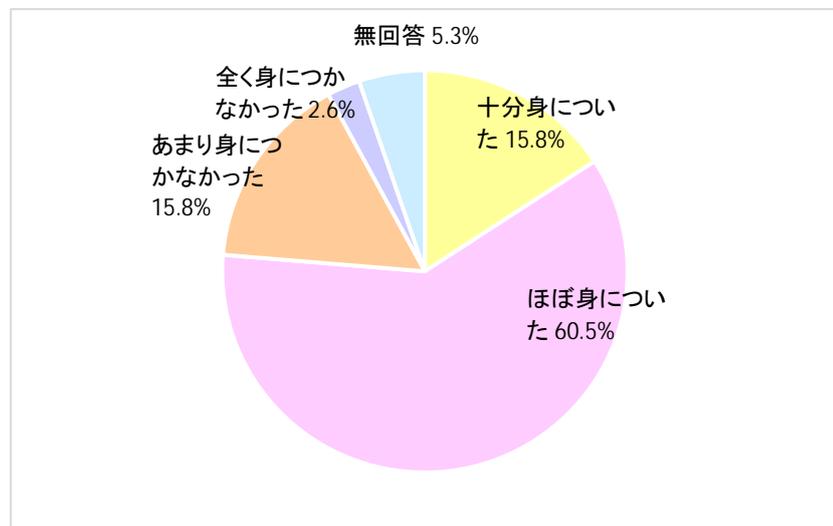
1) 見学だけでなく、実際の診療に参加できましたか？



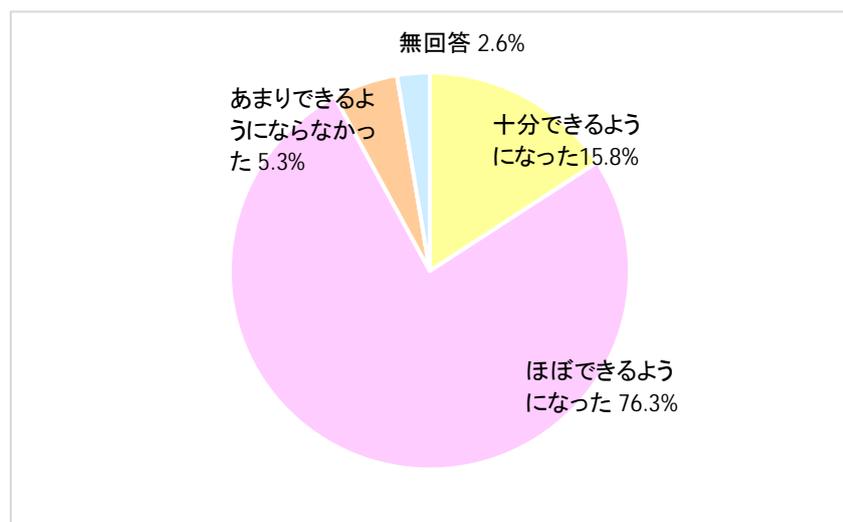
2) 歯科診療の基礎知識は身につきましたか？



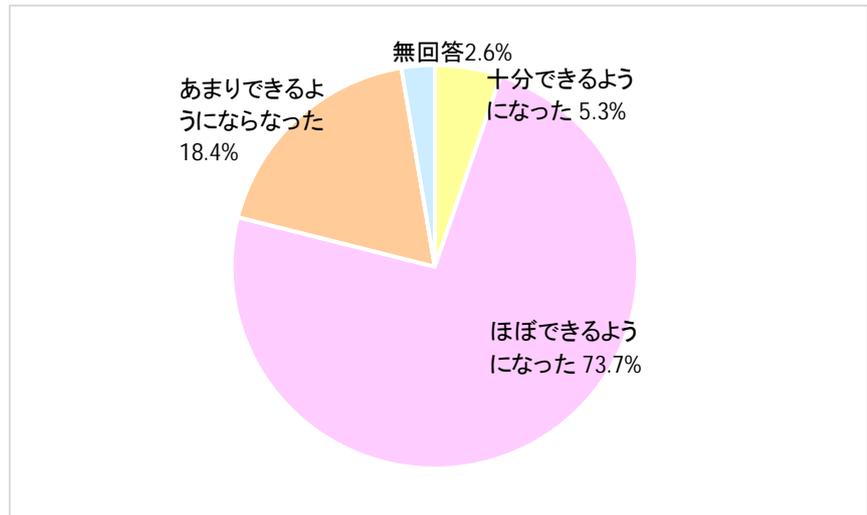
3) 患者さんへの対応は身につきましたか？



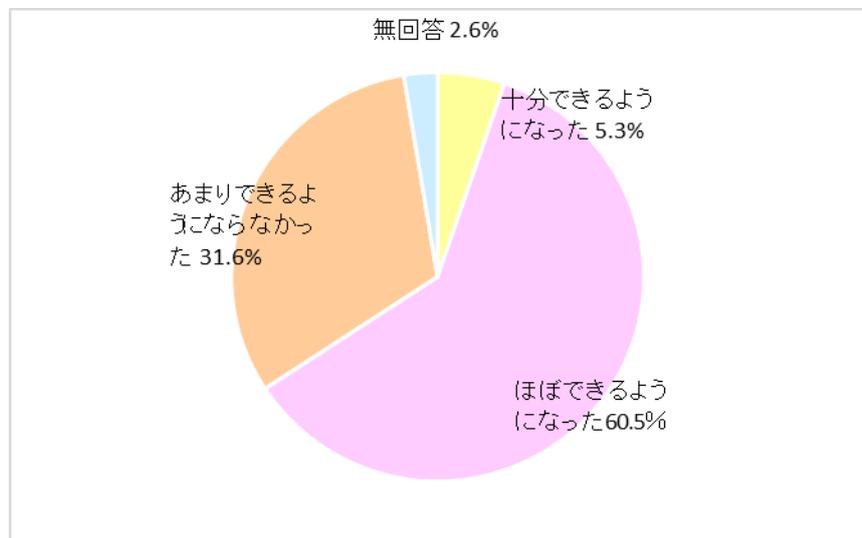
4) 医療面接をできるようになりましたか？



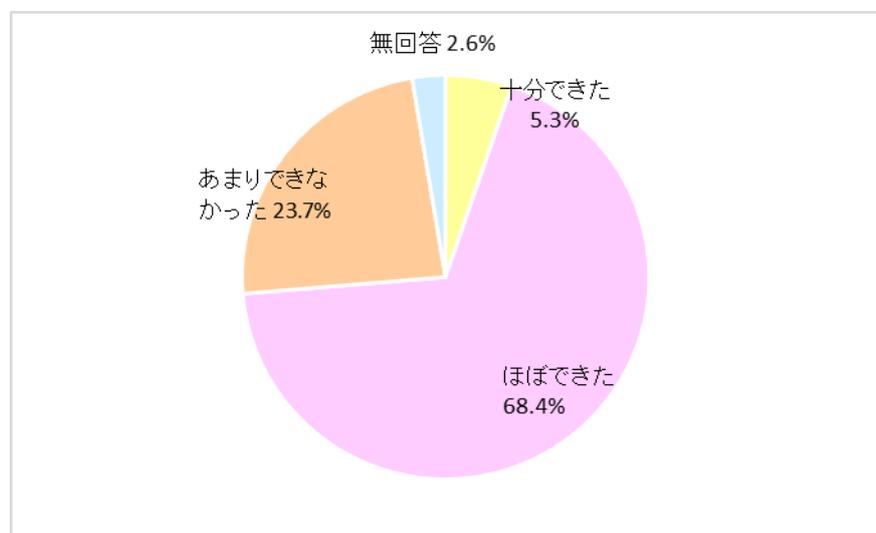
5) 診察をできるようになりましたか？



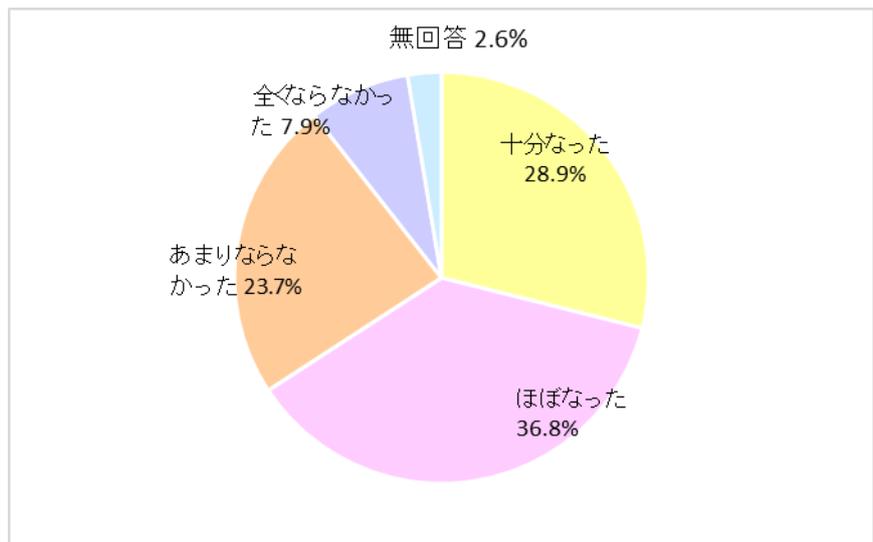
6) 診断できるようになりましたか？



7) 自分から問題を解決する姿勢ができましたか？

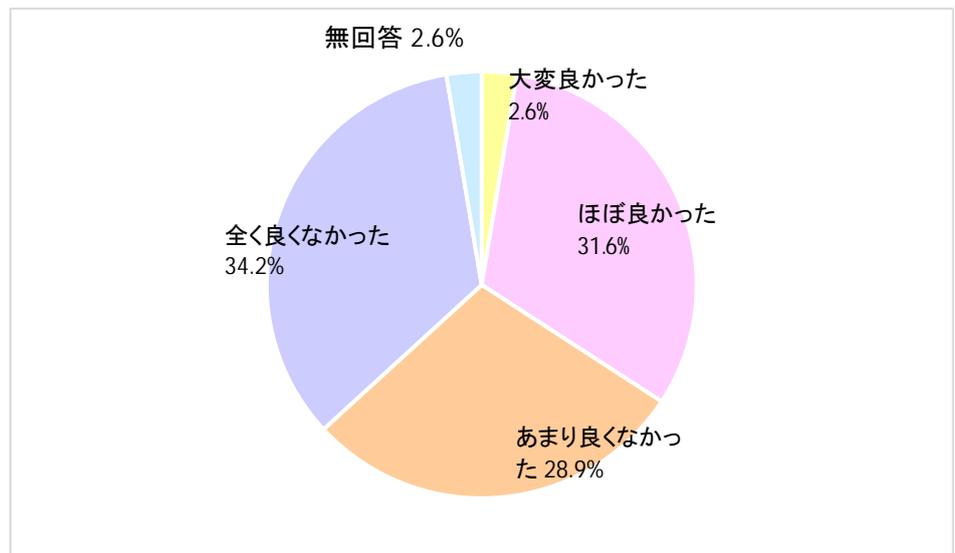


8) 将来の進路について考える参考になりましたか？



8. 出欠確認方法について感想を聞かせて下さい。

1) e-ログブックによる出欠確認はどうでしたか？



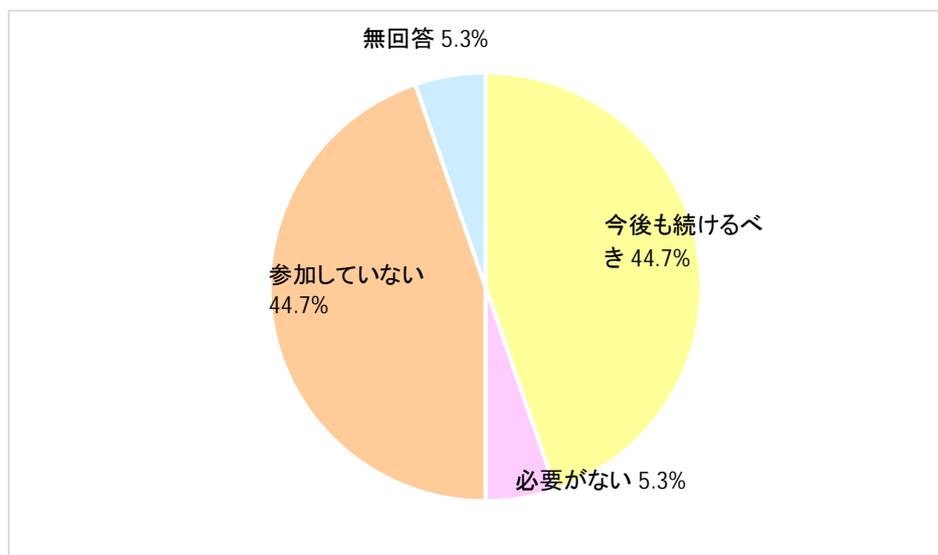
2) 出欠を1日2回チェックすることについてどうですか？

- このままでよい 17人
- 1日1回でよい 19人
- その場合
 - 登校時のみでよい 10人
 - 下校時のみでよい 6人
 - 回答なし 22人

9. 臨床実習を通して、とくに興味を感じた分野を教えてください。(複数回答可)

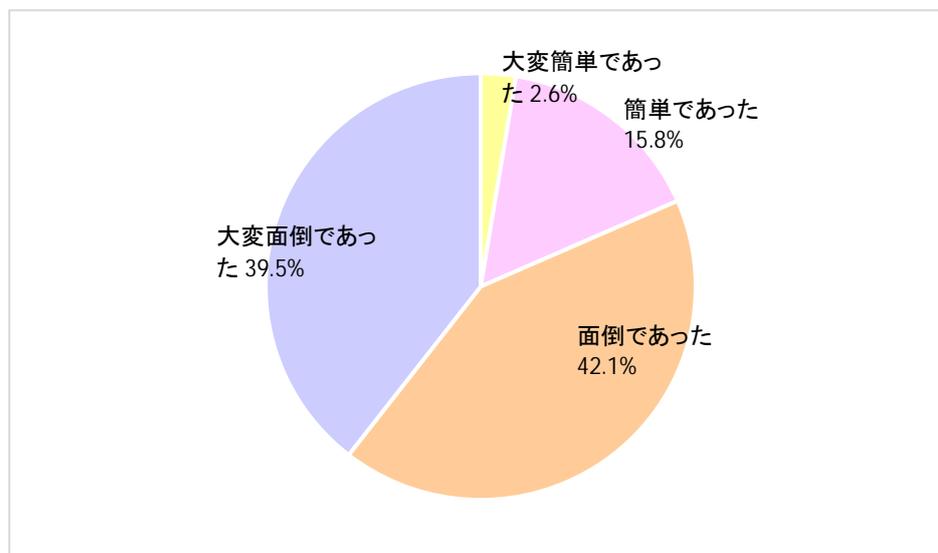
<input type="checkbox"/> 総合歯科学	4人	<input type="checkbox"/> 歯科麻酔学	11人
<input type="checkbox"/> 歯内治療学	10人	<input type="checkbox"/> 内科学	4人
<input type="checkbox"/> 歯周病学	9人	<input type="checkbox"/> 予防歯科学	5人
<input type="checkbox"/> 有床義歯補綴学	11人	<input type="checkbox"/> 保存修復学	6人
<input type="checkbox"/> 冠橋義歯補綴学	7人	<input type="checkbox"/> 歯科矯正学	11人
<input type="checkbox"/> 口腔インプラント学	7人	<input type="checkbox"/> 歯科放射線学	6人
<input type="checkbox"/> 口腔リハビリテーション学	7人	<input type="checkbox"/> 障害者歯科学	8人
<input type="checkbox"/> 口腔外科学	6人	<input type="checkbox"/> 臨床薬理学	3人
<input type="checkbox"/> 小児歯科学	7人		

10. 高次臨床実習についてどのように感じましたか？

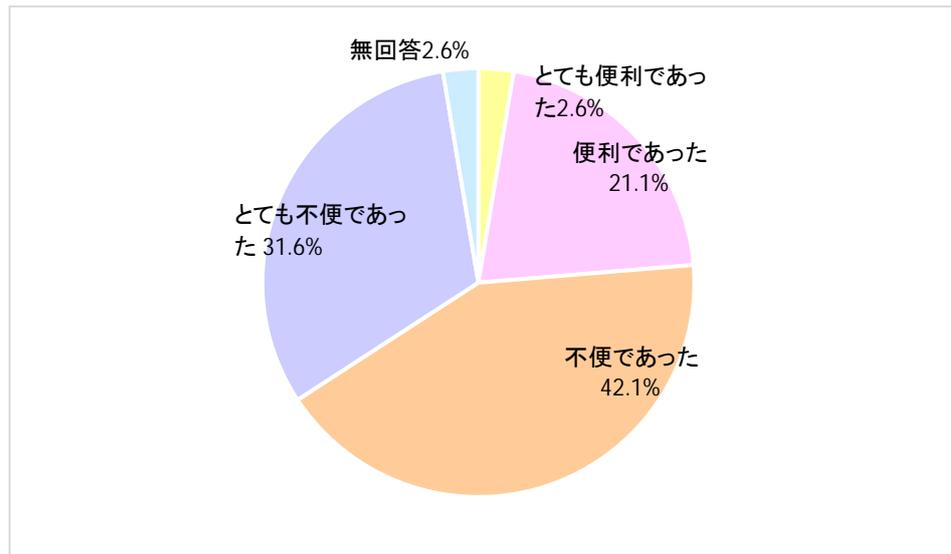


11. e-ログブックについて感想を聞かせてください。

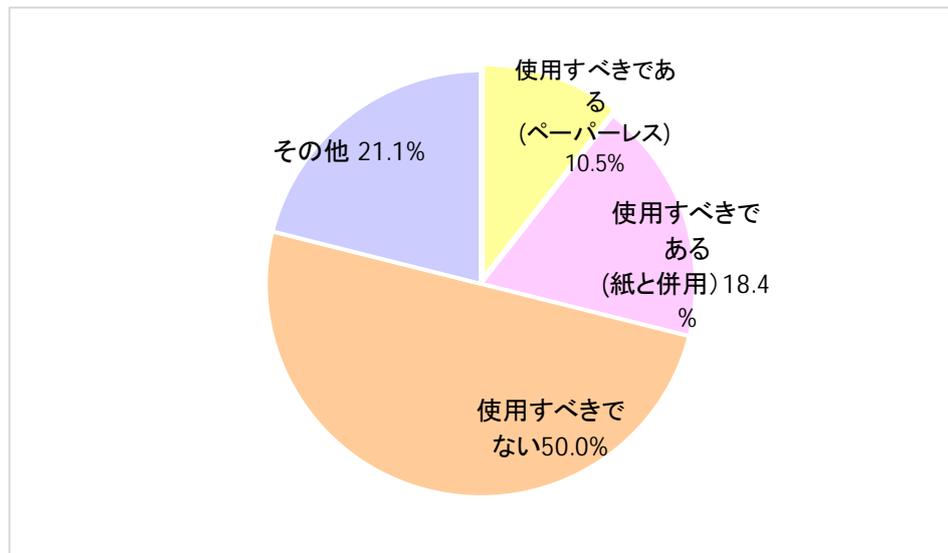
1) 操作方法についてどうでしたか？



2) 機能や使用感はどうでしたか？



3) 次年度以降の e-ログブック使用について

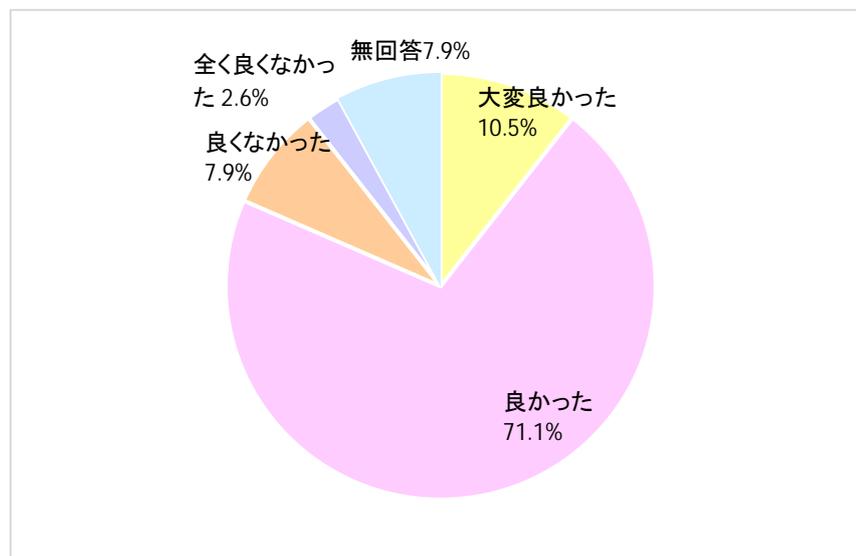


臨床実習Ⅲについて（院内生 43名中 38名回答）

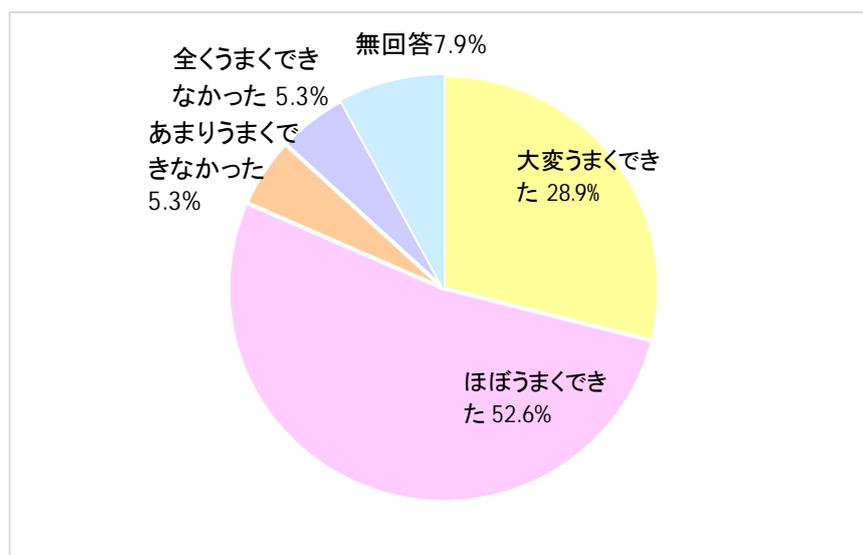
1) 臨床実習Ⅲの実習期間（2019.4.2～4.11）の長さはどうでしたか？

□ 長い 3人 □ 適度 32人 □ 無回答 3人

2) 全配属とした実習形態についてどの様に感じましたか？



3) 患者引継は問題なくできましたか？



学生授業アンケート結果の分析

歯学部教務委員長 岸 光男

岩手医科大学歯学部 2 年生から 6 年生の学習科目に対する学生評価には、25 科目で共通の様式によるアンケートを使用しています（第 1 学年については教養教育センターが他学部と同時に評価）。また、実習と演習を中心に行われる 4 科目、第 6 学年の総合講義Ⅱおよび本学の臨床歯科医学教育の特徴である 8 つのコース学習では独自のアンケートを用いていますが、若干の質問項目の違いはあるものの、すべて 5 段階ないし 7 段階で学生が質問項目に回答する形式であり、これら 38 科目のアンケート結果はすべてスコア化されています。概ね、高評価ほど平均値が 1 点に近く、低い評価ほど 5 ないし 7 点に近づきます。さらに第 4 学年時に CBT 前の総合講義として行われるコア歯学演習Ⅰでは、学生の学習態度等も評価することを目的として、第 5 学年の臨床参加型実習については各科臨床実習担当者から構成されるライター会議にフィードバックすることを目的として、自由記載等を多く使用した独自のアンケートを実施しています。以下に、その結果と分析および今後の対応を記します。

1. 共通様式アンケートによる科目評価（コース学習を除く 25 科目）

5 段階評価（1. とても高評価、2. 高評価、3. どちらともいえない、4. 低評価、5. とても低評価）の平均値を見ると、第 2 学年ではほとんどの科目が全質問項目で 2 点前後と高評価を得ています。しかし、第 3 学年になると平均値が 2.5 を超える項目が目立つようになります。これは教科書についての質問への回答で多く見られます。この理由として、第 2 学年までは系統的にほぼ 1 冊の教科書で学習する講義が主体なのですが第 3 学年になると 1 冊の教科書では学習範囲をカバーできない統合的内容の科目が増えるためと思われます。このような科目では教科書以外の独自のテキストや講義資料を充実させています。しかし、教科書との整合性をとることも重要だと考えられますので今後、可能な限り独自資料と教科書の対応を学生に伝えるような工夫が必要だと考えられます。

2. 実習、演習が中心の 4 科目：歯科専門体験実習（第 2 学年）、基礎科学演習（第 2 学年）、コア歯学演習Ⅱ（第 4 学年）、社会と歯科医療・チーム医療（第 5 学年）

第 5 学年の社会と歯科医療・チーム医療以外は、7 段階評価の平均値が 3.5 を超えるものはなく、学生から比較的高い評価を得ています。高評価の理由としては、歯科専門体験実習における歯科臨床現場の早期体験や基礎科学演習での研究体験が学習意欲の向上につながったためだと考えられます。基礎歯科医学分野に配属され、そこで実験やその結果のプレゼンテーションなどを行う基礎科学演習については、「実習に楽しく参加できましたか」という質問に対して 1.87 という回答平均値で、ほとんどの学生

が楽しかったと回答しました。このことはこの演習がリサーチマインド（科学的探究心）の涵養につながっていることを示していると考え、嬉しく思っています。また、コア歯学教育演習Ⅱは、実習生として臨床に出るための能力を試される OSCE（全国共通の態度・技能試験）への準備として設定されており、演習の目標が明確なことも評価が高い理由と考えられます。一方、社会と歯科医療・チーム医療の評価が低かった理由としては、この科目が3年生から5年生にわたって行われており、最終学年の5年時に取りまとめて1科目として評価してもらっているためと考えられます。今後、評価の方法を検討する予定です。

3. 臨床歯科医学コース学習（8コース）

第3学年後期から第4学年の通年で行われる臨床歯科医学コース学習では、第3学年後期の3つのコースで比較的低い評価となりました。この原因として、第3学年後期のコースについては、それまで主に系統学習中心に行われてきた学習体系から、基礎分野も含めた複数の分野にまたがる学習体系に大きく変わること戸惑う学生が多いためと推察しています。また、教員側の要因としては、分野間の連携の不足が考えられます。コース学習のためには担当する複数の分野が、そのコースで到達すべき学生の学習目標について共通の理解を持っている必要があり、それがなければ、各分野それぞれの講義が良いものであっても、コース全体としては学生にちぐはぐな印象を与えかねません。今後は学生およびコース担当者相互の共通理解を深め、今よりも分野間の連携のとれたコースに改善していく予定です。そのため、今年（令和元年）度は第3学年後期のコース学習に焦点を当て、教員だけでなく学生も含めたコース改善のためのワークショップなどを開催する予定です。

4. コア歯学演習Ⅰ（第4学年）

ここで実施しているアンケートは科目評価と同時に、学生の学習態度の実態調査に使用しています。実習生として臨床に出るための知識を試される CBT への準備を兼ねて、4年生までの歯科医学全般に対する知識を振り返り学習する科目です。学生が実際に CBT を受けた後に実施しており、CBT 受験に役立った項目として本演習が最も役立ったものとして評価されています。学生が臨床実習前に備えているべき知識の充足のために、本アンケート結果を教員側にフィードバックしています。それを参考に各分野で講義等を工夫しています。

5. 臨床実習（第5学年）

岩手医科大学歯学部での臨床実習では学生が教員歯科医師の指導と患者様のご協力のもと、実際に診療を行います。アンケートの結果、約80%の学生が実習を有意義と感じ、約70%の学生が実習を通じて歯科医師という職業に魅力と誇りを感じていまし

た。また、歯科診療の基礎的な知識やコミュニケーション技法などについては約 80 % の学生が、身についたと回答しています。これらのことから、岩手医科大学歯学部の臨床実習はおおむね良好に機能しているものと考えられます。一方で、患者様あつての実習という形態のため、実習スケジュールを自分でマネジメントしなければならず、それをストレスに感じている者も少なからずいることがわかります。さらに近年導入した電子ログブックによる出欠管理に対する評価が低いこともわかりました。実習に対する自由記載欄の意見も参照にして、今後の臨床実習の充実に役立てる予定です。

まとめ

近年は、学習者が学習目標に到達するためには、受動的学習方法から、能動的学習（アクティブラーニング）が効果的であるといわれています。本年度のアンケート結果でも、早期に臨床を体験する実習、研究を体験する演習、さらに実際に診療を行う臨床実習などで高い評価を得ており、そのような学習形態は学生のニーズにも合致していることがうかがわれました。しかし、従来の講義も歯科医学教育にとっては不可欠な要素です。学生からの声を参考にして、今後も継続的に講義、実習、演習の改善に取り組んでいきます。